



I—第2章 子育てをめぐる現状

1 人口推移の状況

図1-2-1 にみられるように、総人口、世帯数ともに減少傾向にあります。

一世帯あたり平均人員も減少傾向にあり、過疎化の進行に加え、核家族化も進んでいるといえます。

また、人口構成割合については、図1-2-2、図1-2-3 のとおり、高齢者人口が増加し、年少人口が減少しており、高齢化率は、平成12年で44.1%と徳島県(21.9%)を大幅に上回っており、急速に少子・高齢化が進展しています。

人口推計(昭和60年～平成12年の国勢調査人口を基にコーホート変化率法により推計)においても、図1-2-4 のとおり、この傾向がますます加速すると推測されています。

図1-2-1 人口および世帯数の推移

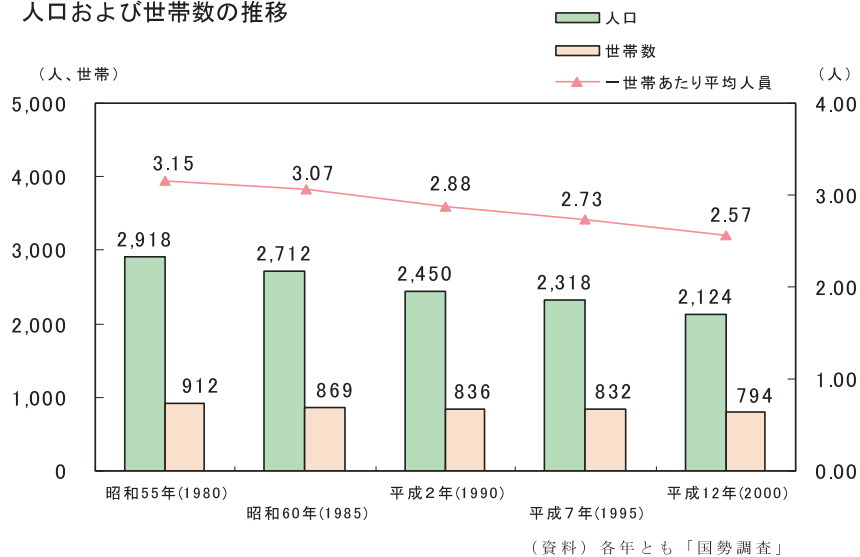


図1-2-2 人口構成の推移

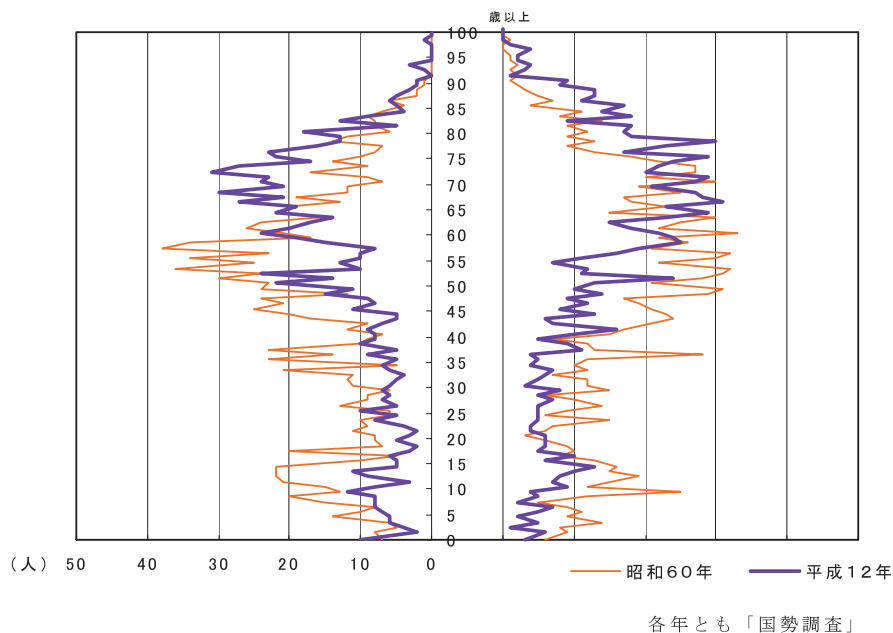
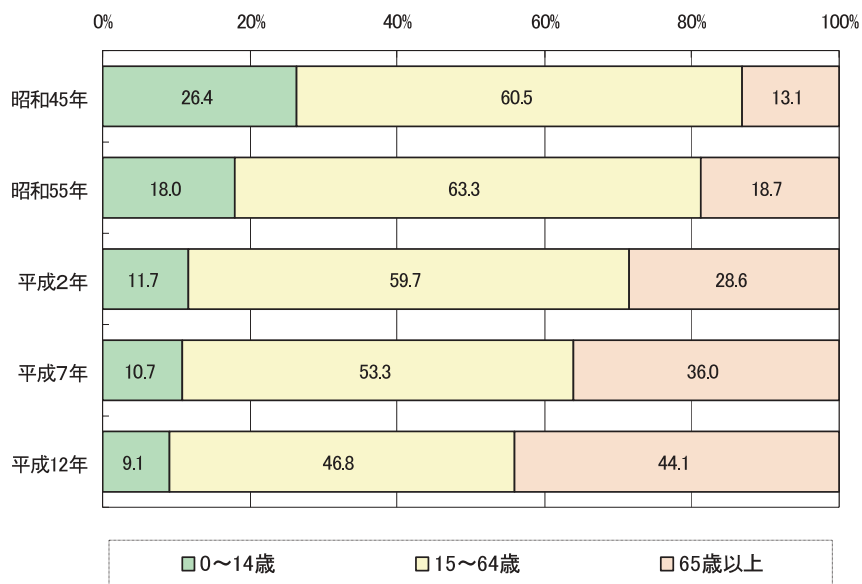
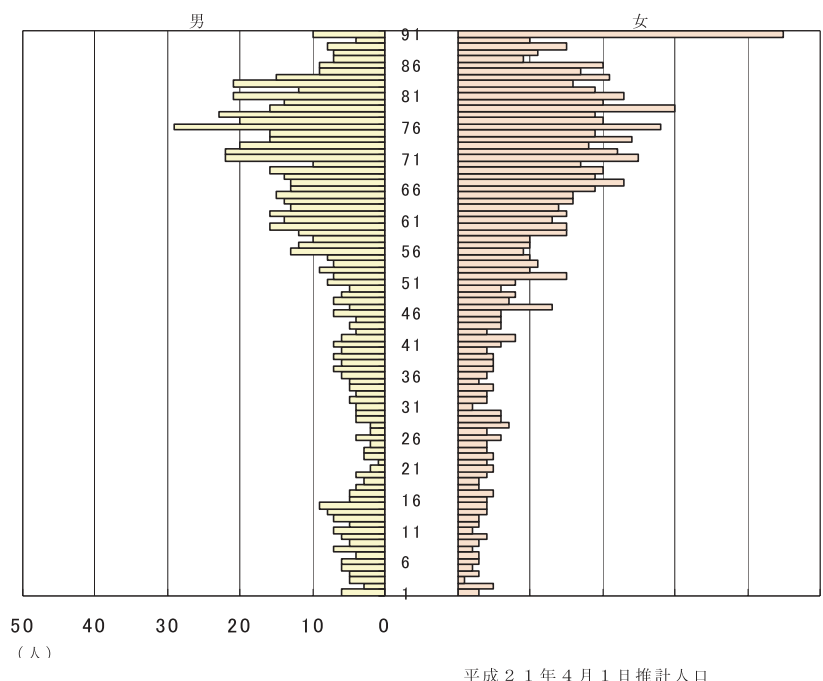


図1-2-3 年齢三区分別人口割合の推移



(資料) 各年とも「国勢調査」

図1-2-4 人口推計による人口ピラミッド(平成21年度)



出生数は、大きな変化はみられないものの、全体的に減少傾向が続いています。出生率も同様の傾向がみられ、全国、徳島県よりも、かなり低めで推移しています。

死亡数は、変動はありますが、増加傾向で推移しています。死亡率は、全国、徳島県を大幅に上回り、上昇傾向で推移しています。

表 1-2-5 出生数、出生率の推移

(単位:人、人口千対)

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
上勝町	13 5.8	10 4.5	10 4.6	11 5.2	8 3.8	10 4.9
徳島県	7,176 8.6	7,255 8.7	7,135 8.6	7,224 8.8	7,038 8.6	6,836 8.4
全国	1,191,665 9.5	1,203,147 9.6	1,177,669 9.4	1,190,547 9.5	1,170,662 9.3	1,153,855 9.2

(資料)保健統計年報

図1-2-6 出生率の推移

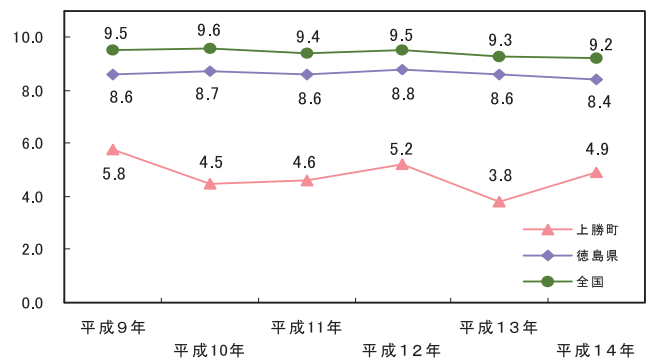


表 1-2-7 死亡数、死亡率の推移

(単位:人、人口千対)

	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年
上勝町	33 14.8	31 14.1	36 16.7	34 16.0	30 14.3	48 23.4
徳島県	7,734 9.3	7,649 9.2	8,046 9.7	7,940 9.6	7,979 9.7	7,847 9.6
全国	913,402 7.3	936,484 7.5	982,031 7.8	961,653 7.7	970,331 7.7	982,379 7.8

(資料)保健統計年報

図1-2-8 死亡率の推移

